

第1回

再エネ勉強会 木質バイオマス活用編

平成28年3月に策定しました「津別町モデル地域創生プラン」に基づき、本町の森林等の地域資源を活用した再生可能エネルギー活用を検討する「平成29年度第1回津別町再エネ勉強会」を、11月1日（水）に津別町林業研修会館集会所で町民など42名の参加を得て開催しました。

再エネ勉強会の開催内容

昨年度は、町民講座を2回開催し、地球温暖化対策や地域内資源による再生可能なエネルギーを活用し、資源と資金を地域内で循環することによる産業の継続と雇用の拡大、豊かな地域社会を作り出す施策について、共有



▲第1回再エネ勉強会の会場風景

を図ってきました。今回は、津別町モデル地域創生プランに掲げています「役場庁舎の建替えと周辺施設の整備に伴う、木質バイオマス等の再生可能エネルギーシステムの構築（まちなか再生プロジェクト）」に基づき、木質バイオマスを活用した熱電供給による公共施設等での活用推進を話題としました。

竹俣副町長からの挨拶の後、町から「町が目指すエネルギー計画について」課題提起を行い、続いて、「津別町森林バイオマス熱供給システムプラン策定業務」を今年度受託している、日本データサービズ株式会社（以下、「NDS」）の担当者2名より、「木質バイオマス活用の方向性について」と題し、公共施設の電気、化石燃料の過去の利用実績からエネルギー量を算出し、木質バイオマスの賦存量とエネルギー需要量の予測を報告しました。後半は、課題提起や話題提供について

て、参加者同士でテーブル毎に意見交換と質疑応答を行いました。

課題提起

「町が目指すエネルギー計画について」

町産業振興課担当者より津別町モデル地域創生プラン（左図）のおさら

3. モデル地域創生プランで今後取り組む事業

A. 公共施設等への再生可能エネルギーの導入	B. 公民連携による木質バイオマスを活用した熱エネルギーの供給
1. 西町団地プロジェクト （内容）公営住宅の木質バイオマスによる集中暖房システムの整備	1. 津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター（仮称）の設置 （内容）再エネ導入のマネジメントを担う公共経済事業体の設置
2. 再生可能エネルギー等の導入促進 （内容）既存公共施設等における熱利用設備の木質バイオマスボイラーへの転換	2. 林地未利用材の流通システムの構築 （内容）町内で活用される木質バイオマス設備への安定的燃料供給の実現
3. まちなか再生プロジェクト （内容）役場庁舎の複合化に伴う、木質バイオマス等の再エネシステムの構築	3. 農業用ハウス熱エネルギー供給プロジェクト （内容）JAつべつ・農業法人等と連携した再エネ活用による施設園芸の実現

話題提供

「木質バイオマス活用の方向性について」

NDSの担当者からは、受託業務内容である、①まちなか再生基本計画に伴う関連施設への熱電供給システムの導入検討（原料供給と需要、導入設備計画、事業性の検証、再生可能エネルギーマネジメントセンターとの連携・支援）、②バイオマス産業都市構想（案）の策定について説明があり、続いて、津別町の地域資源からの考察として、③現在の林地未利用材の発生量、そこから推計した発熱量からの木質バイオマスの導入可能性について、④公共施設のエネルギー

▼主要公共施設のエネルギー需要分布図（H28・MJ換算速報値）

